



### 3. 活動内容

(1) 一年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1 本校のESDでめざすもの

##### (1) ESDのねらい

自分たちのふるさとである大谷の自然や環境にふれる体験活動の中から課題を設定する。その課題解決を通して地域の自然や暮らしを守り、伝える持続可能な地域づくりを考えることができるようにする。

##### (2) ESDで育てたい資質・能力

- ・多様化する社会を鋭く見つけ、自分の興味・関心に基づいた課題を見い出し、解決する能力
- ・情報や資料を主体的に収集・選択し、他者に対して表現豊かに発信する能力
- ・他者を思いやり、協調し、社会に貢献しようとする態度

#### 2 本年度のESD実践事例

実践事例（抜粋・学年の記述がないものは全学年で実施）

4/22	ハチドリ計画オリエンテーション	10/7	稲刈り
5/20	環境講話①（鹿折公民館・豊田先生）	10/14	環境講話③（4分野）
6/3	田植え	10/22	学習発表会
7/1	おかめ浜松林下草刈り（1年生）	10/24	脱穀（3年生）
7/1	天ヶ沢松林下草刈り（2年生）	11/28	海洋教育サミット in 東北参加
7/4	学校林見学（1年生）	12/2	収穫祭
7/4	環境講話②（東北大学・吾妻先生）	3/14	ワカメ茎まき（2年生）
7/4	沼尻海岸ウニ調査・観察		

本校では、環境教育に関する活動を、「大谷ハチドリ計画」として取り組んでいる。今年度、1年生は「大谷の森」に関する活動として学校林の調査、防潮林の下草刈りを行った。

この活動には、本吉総合支所や森林管理署、地域の振興会の協力を頂いている。2年生は「大谷の海」に関する活動として沼尻海岸でのウニの調査や観察を行った。東北大学の吾妻先生の指導の下、実際にウニを解剖して観察も行った。3年生は「ふゆみずたんぼ」のかかわりを中心に農作業を通しての体験学習や、水田の生態調査などを行った。

各学年とも、学年のテーマに沿って自分の調べたいテーマを決めてグループで調査活動を進め、学習発表会で調査活動の成果を発表した。2年生のウニ調査の活動については、11月に行われた「海洋教育サミット in 東北」で代表生徒が発表した。また、協働教育として大谷公民館と連携し、各種活動に公民館職員の方々の協力を頂くほか、地域の振興会や団体との窓口としても協力を頂いている。

#### 3 各校ESD推進上の課題や、次年度改善を図ろうとしている点

- ・大谷ハチドリ計画の地域コーディネーターが、外部講師の斡旋や体験活動の講師を務めるなど、本校に大きく関わっている。コーディネーターと連携を密にし、これまでの活動のさらなる充実を図りたい。
- ・復興が進んで変化していく地域の状況に応じた指導計画の見直しや、教員がこれまで以上に積極的に企画・立案、個人テーマの設定に関わっていく校内体制の充実を図っていく必要がある。
- ・「大谷の山」、「大谷の海」、「ふゆみずたんぼ」の3テーマを毎年探究しているため、前年度と内容が重複することが多い。生徒たちが地元の自然に興味を持つ良い機会となっているが、生徒たちが前年度の内容や反省を踏まえ、さらに探究を深める取組も充実させたい。
- ・公民館を窓口にした活動だけでなく、幼稚園、小学校、地元の漁協や公的機関などと連携するなど、地域とのつながりを生かした活動を充実させ、協働教育の更なる推進に努める。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）